

健 対 協

令和4年度第2回循環器病対策推進に関する小委員会(脳血管疾患関連)

- 日 時 令和5年1月16日(月) 午後1時30分～午後2時15分
- 開催方法 オンライン開催
- 出席者 16人
花島・坂本・瀧川・阪田・田淵・日笠・紙谷・竹内各委員
健康対策協議会 渡辺会長、岡田理事
県健康政策課：萬井課長、坂本課長補佐、井上係長
健康対策協議会事務局：岩垣次長、梅村主任、廣瀬主事

挨拶(要旨)

〈渡辺会長〉

感染力の非常に強いオミクロン株の様々な亜系統の勢いが衰えず、特に高齢者が罹患し亡くなる事態が全国的にも鳥取県でも増えていることは、地域の喫緊の課題である。循環器病対策には、健康課題の健康寿命を3年間延伸していかなければならないという大きな目標もあるため、コロナ禍においてもしっかりと推進していかなければならない重要な課題である。脳血管疾患の小委員会としてもしっかり議論し、循環器病対策の推進に資する活動に繋げていただければと思う。

〈花島委員〉

本日は黒崎先生が急遽欠席ということで、代わりを務めさせていただく。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、脳卒中の診療にも影響が出て

いる状況にあるため、この会議も重要であると思う。

各協議事項の概要

萬井県健康政策課長、井上係長

1. 令和4年度事業の実施状況報告について

循環器病に関する講演会～正しく学んで、しっかり予防！～(一般県民向けの講演会)を、令和4年10月29日(土)午後1時30分から午後4時に「Zoom」によりオンライン開催した。視聴者数は当日視聴が21名、後日動画視聴が28名であった。参加者の所属別では、病院関係者が16名と最多であった。アンケート結果によると満足という意見が多く、次回に向けて、実際に病気を経験された方の経験談を求める要望があった。

循環器病に関する多職種連携従事者研修会を、令和4年11月20日(日)午後1時30分から午後5時に「Zoom」によりオンライン開催した。視聴

者数は当日視聴が28名、後日動画視聴が61名であった。参加者の所属別では、病院／診療所が72名と最多であった。アンケートの結果は、勉強になったという意見が多い一方、専門的で理解しにくい部分があったという意見もあった。また、次回に向けて、心不全のリハビリテーションと栄養支援についての内容の要望があった。

令和5年度は、令和5年11月18日（土）に開催される「日本循環器学会中国地方会」の市民向け講座との合同開催を予定している。講演内容と講師等は、当番地区である東部の田淵委員を中心に進めることとなった。

これらに関して、今回は周知期間が短かく、参加者を多く募れなかった。来年度はより早く周知し、市町村等を通して更なる参加を促していきたい。また、質疑応答も検討し、受講者の研修会受講前後での変化についても伺っていきたい。周知に関して、令和6年4月に、米子にて脳神経外科学会地方会があり、黒崎先生が世話人をされるため、併せて周知することも検討する。

2. 令和5年度の事業案(予算要求状況)について

令和5年度は、令和4年度の継続事業を検討している。研修会開催も健康対策協議会へ委託することとし、患者代表も小委員会委員に加わり、委員人数が増えたこともあり予算は増額となる予定である。

3. 鳥取県循環器病対策推進計画の改定について

令和5年度は、国の循環器病対策推進基本計画

の見直しの時期となっている。それに合わせて鳥取県健康づくり文化創造プラン（第四次）等、関連する他計画と同様に鳥取県循環器病対策推進計画も令和5年度中に見直しを行っていく。今後、令和5年5月と12月に脳、心臓の各小委員会で意見を頂きながら計画の改定を進めていく。その後令和6年1月に県民へ意見を求め、2・3月頃には最終案を作成し、令和6年4月に新プランを策定する予定である。

現段階の「心筋梗塞等の心血管疾患に係る指標(案)」「第7次医療計画指標（心筋梗塞などの心血管疾患)」「心疾患におけるロジックモデル（鳥取県循環器病対策推進計画)」「循環器対策推進基本計画（案)」が示された。現時点で委員から特段意見は出なかった。

令和5年度第1回小委員会において、現在のロジックモデルに繋げている各指標の進捗状況や、課題等を提示し、次期計画に盛り込んでいく想定。

4. 令和5年度「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」の公募について

「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」として、モデル的に令和4年度に全国に10自治体12病院において先行的に実施し検証を行って。令和5年度も、予算額を上げて選定数を増やし公募がある予定である。令和4年度に引き続き鳥取大学医学部附属病院が応募予定である。